

## 赤井特別顧問（大阪大学大学院 国際公共政策研究科教授）

### ■ 二重行政について

- 二重行政はゼロではなく、その部分を解消していくことで確実に効果が上がるものとする。
- ただし、効率化をした時に出てくる効果には事業によって差があるとする。
- 優先順位をつけて評価を行い、二重行政の解消につながる、または、府市が一緒になった時に効果が出ると思われるところに、より集中的にお金を投下することで、成長を加速していくという視点が重要。

### ■ 住民ニーズの反映について

- より住民に近い特別区が誕生することで、住民ガバナンスの強化が期待される。
- また、住民が区のサービスに関心を持つようになることで、住民ニーズに合った行政サービスが実現できれば、住民生活の向上につながる。

### ■ 経済効果報告書について

- 報告書については、ある一定の仮定の下で分析した場合の効果を示したもの。
- U字の費用関数による効率化可能額は、全行政サービスを一つにして推定したもの。一方で、大阪府にふさわしい行政サービス、特別区にふさわしい行政サービスなど、行政サービスごとに異なる効率規模が存在することから、そうしたものを対象にした検討は、報告書と別のところで考えていく必要がある。
- 特別区への移行費用や都市化のコストを考慮すべきとの批判については、報告書の良悪を議論するのではなく、報告書で出された金額をベースに、住民との対話を通じて評価すべきとする。